

乾燥する冬は火に注意



# 乾燥する冬は火に注意

## —学校や保育園で避難訓練—

空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節となりました。村内の各学校や保育園などでは避難訓練が行われ、いざという時の行動方法や注意すべき点の確認が行われました。

### 火災発生時は素早く避難

秋から冬は、空気が乾燥し火災が発生しやすい季節であるため、村内の各小中学校や保育園などで火災に対応した避難訓練が行われました。

訓練は、建物内部での出火を想定して実施。利根沼田広域中央消防署員と村消防団員が見守る中、児童生徒や園児、施設利用者は指示に従い素早く静かに避難していました。

また、訓練ではあわせて消火器の正しい使い方や、消火栓にホースを接続して放水する方法を実践して確認したほか、消防車両の見学なども行われました。

### 煙を吸わないことが大切

訓練に際し、中央消防署員は「火災で怖いのは煙。煙が上昇するスピードは速いため、姿勢を低くして逃げる。煙を吸ってしまったり、のどや肺が焼けてしまうので、できるだけ煙を吸わないようにして逃げるのが大切。それから、消火器には使用期限があるので、自宅のものをよく確認し、古いものは交換してほしい」と呼びかけていました。

1先生の指示に従って素早く避難する園児たち(第二保育園) 2決められた避難場所に避難する利用者(くりのみ学園) 3消火器の正しい使い方を確認(たけのご学園) 4消防職員の説明に熱心に耳を傾ける(大河原小学校) 5訓練後、消防ポンプ車を見学(南小学校) 6避難訓練を終え消防署員と消防団員に挨拶する生徒会長の石澤みゆうさん(昭和中学校) 7消防団の指導で保育士が消火栓からの放水を体験(第一保育園) 8器具の使い方を教わり、放水はじめ(子育保育園) 9閉ざされた防火扉から冷静に避難(東小学校)

### 初期消火に有効

## 消火器の使い方

消火器は身近な消火手段で、初期消火に有効です。普段から設置場所と使い方を確認しておきましょう。



## 慌てずに119番通報

火災発生時は  
万一、火災が起きたときは、消防に通報し次の2つを伝えてください。  
①住所、または目印になる施設  
②燃えているもの(家、枯れ草など)

## 消防団の歳末警戒

昭和村消防団は、歳末の繁忙期における火災予防のため各地域を巡回します。また、火の用心を呼びかけるチラシの配布と、消防水利の点検を行います。

### 管轄地域を巡回

家庭での火の使用が増える夜間に管轄地域を巡回し、火の元への注意を呼びかけます。



### 火の用心チラシを配布

お宅に伺い、火災予防のポイントを掲載したチラシを配布して火の用心を呼びかけます。



### 消防水利の点検

各地区の消火栓や防火水槽がすぐに使える状態にあるか、見回って確認します。

